

よこすか 働き人

VOL. 26

YOKOSUKA

HATARAKI-BITO

自分の長所・短所が分かっていたら、
大丈夫だと思えます。

「海の秘めたる可能性」に、好奇心と憧れ

私は、(独)海洋研究開発機構(以下・JAMSTEC)が所有している海洋調査船の観測技術員です。研究者と乗船し、調査機器運用の補助や、スケジュール管理などの主任研究者のサポートが主な仕事です。陸を離れると忘れ物をしたからと、取りに戻ることも出来ません。閉鎖された空間で、外からの情報が入りにくくなり、戻ってから初めて聞くニュースも少なくありません。人によってはホームシック、酔いなど慣れない環境に苦労します。

自然相手の仕事なので生命の安全が最重要で業務を行っています。



おのてら
小野寺

日本海洋事業株式会社

たくや
拓哉さん

4年

観測技術員に興味を持ったのは、小学生の頃、父親に連れられJAMSTECの一般公開に行き、観測技術員から話を聞いたのがきっかけでした。今まで漠然と見ていた海が、自分達の生活に大きく関わっている事実を知ったのは、子供心に衝撃的でした。海が秘めている可能性に興味を抱き、海に携わる職業が憧れになりました。父が船乗りという事もあり、海は身近で、父の影響は大きかったと思います。

素直に反応してくれる純朴な

私にもMTTとして仕事の話をする機会が巡って来ました。子ども達は、「海の仕事」というと、「漁師さん」のイメージが強いらしく、海を調べる観測技術員に最初は反応が薄かったのですが、資料として持っていた海の生物の、「深海カレンダー」を見せたのをきっかけに、子ども達の表情が変わり、次々に質問が飛び出しました。興味湧くと素直に反応してくれる純朴さは、中学生の頃からだと思います。子ども達が積極的に質問をしてくれたおかげで話が尽きることはなく、時間が足りないほどでした。浴びせられる質問に答えながら気付いた

のは、単語の意味を正しく知ってもらうのは、知識をより深いものにするのに大切だということです。例えば、「深海」とは通常、太陽の光が届かない深度200メートルより下の海中を言います。一語一句噛み砕いて説明するには時間が掛かりますが、中学生がイメージしやすい表現力が、私の方に足りなかったと反省しました。海洋調査の仕事という狭い業界だけに、中学生に弊社の業務を知って貰えただけでも何らかの進歩があったと思っています。

自分の長所・短所・やりたい事が分かっていれば大丈夫

私も自分の中学生時代に大人の仕事を意識した事はなかったと思います。しかし、中学生目線で周りを見ると、いくらでも疑問の種が転がっているのです。「沢山の仕事で出来た世の中の身近な人の仕事から、何か発見ができるかも」と話すと、「今度、街をよく見てみようかな」と言ってくれました。仕事のイメージが出来なくても、「働くこと」はどっしり事か考えるのも良いと思いますし、職業以外にも疑問に思った事や興味を引きつけられ

た事を調べて欲しいと思います。年齢を問わず、素朴な疑問と探求心があれば、知識を身につけることが出来ます。

私も普段から些細な疑問をノートに書き留めるようにしています。少し前に日本の赤珊瑚乱獲のニュースを聞き、知らなかった赤珊瑚を調べてみました。一つ理解すると、また次の疑問が生まれ、そうしていくうちに以前勉強した事の復習になり、再確認が出来ました。業務に慣れてくると、見える物も見えなくなってしまう。仕事に関わるというのも勿論ですが、突き詰める事は、技術者として知識を蓄え、不測の事態の

対応に必要な事と認識しています。

中学生は大事な時期だと思います。私個人としては、自分の長所、短所、何がしたいのかを分かっていたら大丈夫だと思っています。自立に向かう子どもの思いを潰さず、選択肢を広げさせられるようなアドバイスや見守りが私達大人の役目だと思います。横須賀は海がある土地なので、私の話を機に、将来、海の仕事に就いてくれる子どもが出て来てくれると嬉しいですし、更には、海に関わる仕事が発展してくれるとなおいと思います。

MTTは研修というより目線を変える“経験”

総務部 課長 大石 美澄さん

弊社は、中学生が親や先生以外の大人と触れ合うプログラムに共感し、地域貢献としてMTTに参加をしています。職員の仕事で固まりがちな目線を変える、研修というより“経験”として中学生と話せる貴重な機会を、出来るだけ多くの職員に与えられるよう派遣しています。

特に楽しみにしているのは、感想文です。良かった事ばかりでなく、“よく分からなかった”など、正直な意見も全て聞かせて欲しいと思っています。それが、私達MTTのプログラム参加のモチベーションになっています。限られた時間でいかに分かりやすく話すかと言うことは大人でも訓練が必要です。感想文でフィードバックして貰えると、「何が良くて、何が伝わらなかったか」をふり返り、次に生かせるのです。お互いが、楽しかった！もう少し話したい！と思いつながら終わられる場の盛り上がりの工夫にも有効だと思います。

グループディスカッションへの参加は、JAMSTECで年に一度開催される一般公開で、見学者への説明や対応のプラスになっているものなので、今後も続けていこうと思っています。

日本海洋事業株式会社

〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町14番地1

ニッセイ横須賀センタービル 8F

TEL. 046-824-4611 Fax. 046-824-6577

URL: www.nmeweb.jp/ E-Mail: info@nme.co.jp

事業内容 独立行政法人海洋研究開発機構の海洋調査船、潜水調査船支援母船、深海調査研究の運航管理、有人潜水調査船及び無人探査機の運航管理、ならびに各種研究及び開発に関する支援業務などを行う。



有人潜水調査船支援母船「よこすか」(JAMSTEC所有)